



花芽形成促進活性剤

特許第 3515935 号

花芽トッフ2号

.....THE TOP of SPROUT.....

10×10本

天然有機による花芽形成促進活性剤
プロリン：ウラシル
最適比率混合剤

花芽とは・・・

花芽 (花芽分化)
花芽分化は生長点で行われる。

花芽は、成長して花房を形成し、そして開花する。

●成分分析 (例)

| 総アミノ酸 | 総核酸 | チッソ | リン酸 | カリ | その他 |
|-------|-----|-----|-----|----|---|
| 8 | 2 | 5 | 7 | 4 | CaO, MgO, Fe ₂ O ₃ 微量 |

京都大学農芸化学教室に於いて、現国際応用生物研究所理事長 故小林達治農学博士の研究により生まれた

植物の有機栄養理論

植物は根から有機養分であるアミノ酸や核酸、ビタミン類、ホルモン、糖等を有機吸収利用することが確認された結果、これらの吸収作用が植物の開花結実に役立つことも証明された。

更に、アミノ酸のプロリンや、核酸のウラシルは花芽形成果実肥大になくてはならない養分として強力補給の効果は大きいことが解明された。



サン化研株式会社

本社

〒589-0023 大阪府大阪狭山市大野台4-26-8
TEL : 072-366-2012 / FAX : 072-367-3533



花芽トップ2号

THE TOP of SPROUT

1ℓ×10本

“花芽トップ2号” 6つの特徴

特徴
1

“花芽トップ2号”は藻から抽出されたアルギン酸にプロリンとウラシルを特異な方法、即ち、最適比率で混合アップしてつくられております。
本液のPHは弱酸性です。

特徴
2

“花芽トップ2号”は含有アルギン酸によってアミノ酸・核酸のバランスをよくしています。

特徴
3

“花芽トップ2号”使用の水は、水の分子を細かく砕いたものを使用しております。

特徴
4

“花芽トップ2号”は土の中の有効微生物群を増やし健康な土を作ります。

特徴
5

“花芽トップ2号”は塩類集積が少なく、濃度障害・塩害・ガス障害の心配がなく安心して使用できます。

特徴
6

“花芽トップ2号”は発根、発芽、生育の良い健康な作物をつくり上げ、果実に於いては大きく、甘い味・香り・色艶の良いものが収穫出来ます。

“花芽トップ2号”の含有成分内容

(核酸塩基) ウラシル アデニン チミン シトシン

(アミノ酸) プロリン ロイシン イソロイシン アラニン バリン グリシン フェニールアラニン
グルタミン酸 シスチン リジン チロシン メチオニン アスパラギン酸 ヒスチジン
トリプトファン スレオニン セリン アルギニン

“花芽トップ2号”の使用手法

| 施用期 | 施用方式 | 希釈倍数・方法 | 施用回数 |
|----------------|------|---|--------|
| 幼苗期 | 灌水 | 希釈率 300～500倍 慣行水量に合せて施用 又は原体 1ℓ/10aを慣行水量に合せ流し込む。 | 1回 |
| 栄養成長期 | 葉面散布 | 希釈率 500～1000倍 150～200ℓ/10a | 1回 |
| 生殖成長期 (花芽期) | 灌水 | 希釈率 300～500倍 慣行水量に合せて施用 又は原体 2ℓ/10aを慣行水量に合せ流し込む | 3回/月 |
| | 葉面散布 | 希釈率 500～1000倍 150～200ℓ/10a施用 | 4～5回/月 |
| 成熟期 | 灌水 | 希釈率 300～500倍 慣行水量に合せて施用 又は原体 2ℓ/10aを慣行水量に合せ流し込む | 2～3回/月 |
| | 葉面散布 | 希釈率 500～1000倍 150～200ℓ/10a | 2～3回/月 |